

NTT労組・退職者の会 大阪支部協議会報

2001-6号(通算22号) 2002年9月27日

報 河 泉

NTT労組退職者の会・大阪支部協議会
発行責任者 鷺谷 憲
編集責任者 小林 保
〒553-0003
大阪市福島区福島3丁目1-73 コミュニティプラザ大阪内
Tel. (06)6451-8100
Fax. (06)6344-9382

美しく健康、生涯いきいき

紙 面 か ら

総会議案特集.....	1～2面
お元氣コール訪問.....	2面
紅葉狩りツアー案内.....	3面
ゴルフコンペ案内.....	3面
会員の広場.....	3面
総支部だより.....	4面
いきいき講座案内.....	4面
囲碁大会結果.....	4面
人の動き.....	4面
編集後記.....	4面

そんな活動を行うための基盤として、四回総会で決めた地域別ブロックを発足させるため、この一年、組織検討委員会、ブロック準備

委員会で論議を重ねてきました。また、いきいき講座の開催日程の増など各種行事の充実をしてきました。さらに常駐体制の確立で事務の迅速化、会員とのコミュニケーションをはかりました。

NTT労組は府県域を越える総支部体制となりましたが、退職者の会は一都道府県一支部協体制を継続していくこととしました。一層の自主・自立の運営を求められる状況にあります。またボランティアを含め会員参加の運動の定

二つの大きな変動

二〇〇一年度は会にとって二つの大きな変動がありました。一つはNTT労組の組織再編です。府県地域を越えた総支部制、アウトソーシング会社設立に伴う分会組織の変革、退職者の会の接点を支部からグループ連絡協議会への移行など大きな影響をもたらしました。二つは経済情勢からくる退職者共済の給付内容の大幅な減少、大幅な掛金アップとなった生命特約から生命共済(あいあい)への移行など、会の魅力の一つであった共済制度の変更は会員に多くの不満があったことは否めない事実です。NTTに勤務していたから、NTT労組の組合員だったから退職者の会に入るのは当然という甘い認識を捨て、入って良かったと言われる会にしていかなければなりません。

提案にあたって

別記告示のとおり一〇月二六日にNTT労組退職者の会大阪支部協議会の第五回定期総会を開催致します。しかし、残念ながら退職者の会の現状では、会員の意見を事前に集約し総会代議員が議論をするという組織実態にはなっていません。いろいろな会のイベントに参加された会員からの声や、ブロック委員を通じての会員の声を聞く程度で、一方的周知という形にならざるを得ませんが、以下の通り総会議案の骨子についてお知らせします。ブロック委員や、支部協へ意見を聞かせてもらえと思っています。

告 示

NTT労組退職者の会大阪支部協議会会則第7条にもとづき、第5回定期総会を下記の通り開催します。

1. と き 2002年10月26日(土) 受付12時 開会1時
2. ところ コミュニティプラザ大阪 3階ホール
大阪市福島区福島3-1-73
電話06-6454-1153
3. 構 成 ①各ブロック代議員
②大阪支部協役員
4. オープニング 大正琴演奏
「わたすげの会」
- 5 周年記念特別講演 内藤参議院議員
議 題 2001年度各種報告
2002年度活動方針等

2002年9月27日
NTT労組退職者の会 大 阪 支 部 協 議 会
会 長 鷺 谷 憲

NTT労組退職者の会 大阪支部協議会 第五回定期総会議案

着を進めるとともに、多様な企画を模索し、次年度の活動を粘り強く続けます。

一年間の活動を ふりかえって

組織問題の取り組み

- 1 地域軸足のブロック体制の立ちあげを最も大きな課題として取り組みました。
- 2 第二回幹事会でブロック準備委員会の責任者の人選を行いました。
- 3 二月一五日付の会報で準備委員会の立ち上げの周知と、会員の理解を求めました。
- 4 四月の組織検討委員会で最終の集約を行い北摂、河内、泉州、なにわの四ブロックの地域割りとなりました。

ブロック委員全体会議は行いませんでしたが、新ブロック準備委員会の開催により、現ブロックを超えた委員の交流がはかれました。

4 ブロック委員

- 3 常駐体制について
週五身体制で会員とのコミュニケーションと信頼関係を深める役割を果たしました。共済業務など多忙時のブロック委員の応援態勢も順調に推移しました。

2 幹事会について

毎月の最終木曜を定例化して開催し、諸種の議案に対応してきました。なお、議事録を事務局で作成し、ブロック委員会で、報告を統一しました。

組織運営の活性化の取組

- 1 三役会議について
幹事会に提案する議題の骨子の調整のため幹事会の一週間前に定例化し開催しました。また、会長、事務局長、事務局次長、会計担当による事務局会議を開催しました。

会員拡大の取組

- 1 今年度はNTTの組織改革に伴い、平年を上回る会員増となりました。
- 2 退職予定者説明会は大阪支部三回、西日本本社支部一回のそれぞれに参加し加入勧奨を行いました。
- 3 会員数は昨年九月末が四九二〇名、現在は五四〇〇名余です。

- 5 七月の組織検討委員会で結果について確認、ブロックの活動方針を決定、細部は各ブロック準備委員会で補完することとし、組織検討委員会は終結しました。

学習交流会の取組

前年度より回数を増やし、様々なテーマを取り上げ実施しました。アンケートの結果については次年度の参考とします。

健康ウォークラリーの取組

五月恒例のイベントにあわせ、支部協では生駒方面ハイキング、長居公園でのスタンプラリーを実施しました。なお、残念ながら記録用紙の返送が減少傾向にあり報告の方法も含め、多くの人に参加出来るよう検討します。

コミュニケーションの 充実の取組

- 1 会報の発行
会報「摂河泉OB」は紙面を一新し組織内地方議員の協力を得て、地方における高齢者対策問題の取材、会員の広場の設置などを行いました。発行は六回でした。
- 2 訪問活動について
ハガキ訪問を見直し、共済更新資料に同封し実施しました。設問についても、特技趣味・パソコン関係など多様化しました。回収率もよく整理のうえ、支部運営の資料として活用します。
- 3 イベントの強化
バスツアー・ハイキング・社会見学など計画通り実施しました。
- 4 サークル活動について
各リーダーの創意、工夫で運営が活発化しています。支部協としてもサークル活動へポリシーはどうあるのかが求められています。
- 5 その他
特別企画としての情報労連の協力を得たシニアーズコンサートの無料招待は好評でした。

地域協力の取組

南部ブロックが行っている一部地域(岸和田・泉佐野)での会報「堺河泉OB」の手配りは会員から高い評価を得ており、支部協も地域活動の一環として支持しています。

退職者共済の見直し

給付制度の見直し、生命特約の

居住地組織への参加の取組

- 1 地域居住者の会豊中、堺、高槻の総会に参加しました。
- 2 西日本本部主催の居住地組織・退職者の会・グループ連絡会交流会に参加し、居住地組織と退職者の会との交流、退職者の会との接点がグループ連絡協議会へ移行等の取組について検討しました。

福祉活動の取組

- 1 支部協発足以来継続している「愛のカンパ」は今年度は一〇二二名百八万二千円の協力を頂き、全電通近畿社会福祉事業団へ寄贈致しました。
- 2 介護保険制度等社会保障に関わる諸問題について、NTT労組・連合等と連携し取り組んで来ました。連合高退会主導の医療制度改悪反対の署名運動にも参加しました。
- 3 ボランティア活動については、近畿社会福祉事業団への組織登録、改築された「愛の家」の見学、南部ブロックを中心とした「愛の家」へのボランティア活動、タオル、石鹸など物資の送付を行いました。
- 4 ベルマーク・使用済みテレカ・切手の収集等の福祉関係の活動の取り組みは、支部協福祉委員会が行いました。

2002年度予算

2002年度予算について
は現在時点では繰越金額が確定せず、本紙では掲載できませんが、新ブロックの発足に伴い交付金を増額し各ブロック定額55万円と会員数×800円とします。
なお、2003年度会費については共済更新時の8月納入の関係で、本総会で中央協の提起をうけ400円を増額し、2400円とすることを提案致します。

新ブロック組織の確立

- 1 新ブロックは、なにわ・北摂・河内・泉州とし、近畿圏外の会員は支部協直轄とします。
- 2 新ブロックは一月中旬に、結

はじめに

「安全・安心・安定・そしてチャレンジ」をキーワードとし、「生活保障とゆとり・豊かさ・社会的公正」を求め、現・退一致の運動を進める中で福祉の増進、生活の向上、明るい社会の創造のため、活動を進めます。支部協ブロックは地域型に移行します。

生活改善の取組

- 1 NTT労組・連合と連携し、社会保障システムの充実改善に積極的に取り組んで来ました。物価スライド制凍結を解除し年金引き下げの動きもあり、生活が保障される年金制度の確立に向けた取組が求められます。

廃止、生命共済「あいあい」の新設など共済更新時に多数の問い合わせがあり対応に多忙を極めました。

会員拡大の取組

NTT労組大阪グループ連絡協議会の支援を得ながら通年的に取り組めます。

組織運営の活性化の取組

- 1 NTT労組との折衝窓口はグループ連絡協議会となりました。従前以上にコンタクトをとり、情報伝達、意思疎通を行います。
- 2 役員体制は組織運営に適した

政治改革の取組

NTT労組・連合高退会の推薦議員の選挙をはじめとする政治改革にかかわる要請に取り組んできました。河内長野市、名張市、松原市の地方選挙に協力し、それぞれ当選いたしました。

- 2 大阪府総合福祉協会の「生きがいワーカーズ」活動の連絡会に参加し、情報収集に努めています。

二〇〇二年度の具体的取組

学習交流会の取組

- 1 「いきいき講座」はアンケートを参考としながら会員の要望に沿ったテーマを選択して行います。
- 2 屋外研修も考慮して、昨年実

コミュニケーション充実の取組

- 1 会報の発行
会報「堺河泉OB」は年六回発行し、各ブロック活動周知欄を設けます。
- 2 訪問活動について
各ブロックで創意工夫をして実施することとし、支部協も協力します。
- 3 イベントの強化
社会見学、日帰り旅行などは各ブロックで行うこととし、時期等の調整は、支部協で行います。一泊旅行(海外を含む)など大きなイベントは支部協で企画実施します。
- 4 サークル活動について
サークルの育成、発展を応援します。地域限定が適切なサークル(グラウンドゴルフなど)はブロックが主体となります。

- 3 幹事会は定例開催し、内容の充実と効率化を図ります。
- 4 週五日の常駐体制はブロックの代表と事務局で行い、会員とのコミュニケーションの充実のため、常駐者間の連携を密にします。
- 5 事務局会議を充実し、三役会議は必要の都度開催することとします。
- 6 各ブロックの活性化と相互理解を図るため、ブロック代表者会議を開催します。
- 7 ブロック委員交流集会を開催します。

体制とします。

居住地組織への参加の取組

NTT労組が主導であった「地域居住者の会」はグループ連絡協議会の主導により再構築されるものと思われます。既参加の居住地組織も含め、要請には積極的に対応し、ブロックが地域の核になるよう努力します。

- 5 医療保険、介護保険等社会保障に関わる諸問題について、情報収集を行うとともに、NTT労組・連合等と連携して取組めます。
- 4 「愛の家」への物資の収集ボックスも、続いて事務局内に設置します。
- 3 ベルマーク・テレカ・切手、ブルトツプの収集、寄贈の活動は引き続き行います。
- 2 ボランティア活動に積極的に取組めますが、「愛の家」へのボランティアが南部ブロックが中心になったように、時間、交通費などの経済面からも地域中心が長続きにつながるといいます。NTTを超えた地域での活動に各ブロックが取組まれることを期待いたします。
- 1 全電通近畿社会福祉事業団へ「愛のカンパ」は今年度も実施します。

健康ウォークラリーの取組

歩くことが健康の基本であることを認識し、本年も五月に実施します。記念品も含め実施方法など、見直しも視野に入れて検討します。

- 3 一日一講座による講義内容の掘り下げも検討します。

績より、予算の増を行います。

お元気コール訪問にご協力有難うございました

今回のアンケートによる訪問では、特技や趣味についてもご記入頂きました。特にパソコンやEメールの記入が多く、今後の支部協やブロックの活動に役立たせていただきたいと思います。

政治活動の取組

- 1 平和を愛し、社会保障制度の充実を重点とする、政治への改革を目指してNTT労組に協力します。
- 2 明春の統一自治体選挙に向けて、グループ連絡協議会に協力し、現・退一致で取組めます。

グループ連絡協議会との連携

グループ連絡協議会の構成組織の一員として、取組に積極的に関わります。協議会の進める現・退一致による地域密着型の幅広い活動に協力していきます。

生活改善の取組

- 1 年金・医療・介護・雇用など社会保障システムの充実改善に向けて、NTT労組や連合等と連携して取組めます。
- 2 大阪府の「生きがいワーカーズ活動」に理解を示し、社会に役立つ活動、就労の生きがいづくりを進める運動に、取組めます。

秋の京都 高雄・嵐山方面散策

11月25日(月)

集合時間 午前8時(雨天決行)

集合場所 JR大阪城公園駅

定員 80名(先着順)

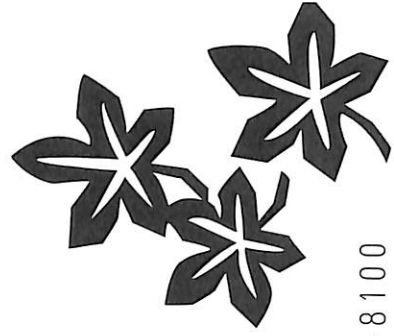
会費 8,000円

(会員外8,800円)

申込締切 10月18日(金)

電話で ☎06-6451-8100

ご案内・振込用紙は別途送付いたします。



会員の広場

会員の生き方もごも、17字の世界に生きる人、ボランティアに汗を流す人、まったく違う道にいきる人、今回はそんな会員の寄稿です。

あなたはどんな人生を送られていますか。

第42回 ノース・リバー 忘年ゴルフコンペ

12月11日(水)・12日(木) 1泊2日

プレー日 12月11日(表彰・総会・懇親会・宿泊・朝食後解散)

開催場所 美加ノ原カントリークラブ(みかさコース)

9時3分 OUT・IN同時スタート

乗用カート・キャディ付き・シューズすべて可

プレー費 12,800円(冬季料金は現時点では不明)

宿泊場所 NTT万葉荘 ☎0742-26-7933

受付人員 10組 先着40名

参加費 ①プレーのみ 2,000円

②総会・懇親会 5,000円

③プレー・総会・懇親会 7,000円

④総会・懇親会・宿泊 10,000円

⑤プレー・総会・懇親会・宿泊 12,000円

申込締切 11月6日 午後4時までに

電話で ☎06-6451-8100



俳句へのおすすめ

田宮 美千代

俳句を作るとき、人は花鳥、人生すべてのものを客観的に見つめ、これを一七字に表現します。

人生は決して平坦なものではありません。すべて思い通りになる幸せな時もあれば、色々な苦しみ、悲しみの時もあります。俳句はすべてのことを客観的に見て、原則的に一七字に詠じる短詩なのですが、これが物事をその渦中に入らないで外から見つめる目を養うことが出来るので、どんな苦境にあっても、自分を外から見つめることで苦境を乗り越えることができます。私の古い俳友のお母さんは七〇歳から俳句を始められ、九〇歳にして子供に先立たれましたが、これを乗り越え天寿を全うされました。

俳句には正岡子規、高浜虚子の流れをくむ伝統俳句といわれる、五七五の韻律を踏み、一句の中に必ず季語とよばれる季節を表す言葉を入れるきまりのあるものと、これにはこだわらない形のものもあります。どちらを選ばれるのも自由ですが、伝統俳句には作句の上でよい面があると思われます。

なにしろ一七字という世界でも短い詩の中に、出来るだけ多くの事象を盛り込むには、季語を最大に活用することが大切です。季語は歳時記に盛り込まれておりませんが、僅か二字から五字で表現されるその季節を表す言葉によって無限の広がりが出て、読む人にいろいろな創造をもたらす素晴らしい働きを持つ便利なものです。これを利用することによってたった一七字で言い表せない大きな世界を表現できる効果が得られるのです。

例えば「梅雨」という二字から

毎日降り続くじめじめした季節のあらゆる現象が読む人には連想され、以外に大きい広がり表現で表せるのです。

皆さん上手下手は考えないで、身近のことをとにかく俳句にしてみませんか。

きつと毎日の生活が楽しくなることと思います。

句碑と句碑 つなぐ白萩

こぼれ初め

美千代

(雲海同人・関西俳誌連盟幹事)

あつという間に下着までボトボト 「愛の家」ボランティアに参加して

細杖 純子

河霜 昭子

八月三〇日午前一〇時～一二時まで、愛の家の草引きに参加しました。七月に二度ばかり「押し花」作りに訪れたとき、丁度門から玄関までの左右に草が一杯生えていたので、気になりつつ帰って来ました。

八月の会合で「草引きのボランティア計画」があつたので、美しく気持ちのいい景色にしたいとの強い思いで参加しました。猛暑



九日に待望の雨が降ってくれ、恵みの雨が背中を押してくれたようにさえ思えたのです。

参加者は一〇名、それぞれが着替えをして日差しの強い庭の草を根っこから抜く爽快感、しかし額から流れる汗は、あつという間にな下着までボトボトになつてしまつた。二時間びつしり作業をして、さわやかな気分できりあえず今回は終了しました。まだ半分にしかなかった。二時間びつしり作業をして、さわやかな気分できりあえず今回は終了しました。まだ半分にしかなかった。二時間びつしり作業をして、さわやかな気分できりあえず今回は終了しました。まだ半分にしかなかった。

一期一会の繋がりを いろいろ端で

中富 孝行

皆さん今日は。私は平成六年豊岡支店を最後に退職し平成一一年九月から「アルプスの街白馬」北安曇郡白馬村で極小さな「ペンションもみの舎」を夫婦二人で開業しています。

勤続三〇年・歳五〇を超えれば一区切りつけたいと、思っていたうえでの退職でしたが、その後の人生をどう生きるか?となると中々思ひは纏まりません。特別な趣味も無く、といって単にサラリーマンを続けるのでは早期退職の必要も無い訳です。在職中はほとんど家庭を顧みることも無く、家族、特に女房には子育てを始め家の事すべてを押し付けてきた反省もあつて、余生は夫婦二人で一緒にやれることが一番良い、との考えで纏まりました。

お好み焼き・喫茶・うどん店等色々ありましたが、結局二人でゆつたりと生活しながら、多くの人と出会い、語らいながら元気をいただける仕事と行うことで、現在のペンションをやることになりました。

北アルプスの雄大な大自然に抱か

と話し合い、汗を拭き拭き、みんな素敵な笑顔で愛の家を後にしました。

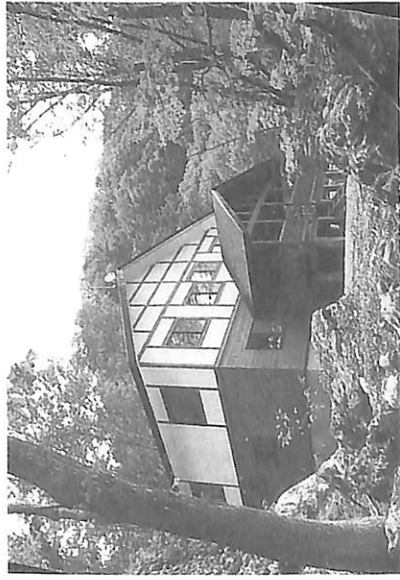
よる年波ですね、今日は腕や足腰が筋肉痛というか違和感があるの、サウナに入り、風呂でもみほぐしながら、ちよつと幸せな気分浸っている私です。

また近いうちに行きたいと思っています。

元気に生きている笑顔の子供達にあうために:。

れ、展望が開け(標高約千メートル)清閑な森の中の別荘地を、偶然に見つけ大いに気に入り即決定となりました。この土地の不動産会社の社長が私のNTT入社の同期(大阪料金局)だったとは、人

の出会いとは思ひもたないと思ひます。開業四年、多くの旧知の方々に訪れていただき、また初めての出会いの人々との一期一会の繋がりをいろいろ端で重ねながら、日々の無事を感謝している毎日です。元気な間は夫婦二人でがんばりたいと思つております。機会がありましたら一度お越しください。お待ちしております。ペンションの紹介はHPをご利用ください。



ペンション もみの舎
HP アドレス <http://www.3.ocn.ne.jp/~momi/>

マジックと歌で 楽しみませんか

10月16日(水)のいきいき講座は公開講座です。誰でも参加できます。

場 所 コミュニティプラザ大阪3階ホール
13時～16時30分
受 付 12時00分
一般参加は 当日受付で500円お支払い下さい
マジック・ショー リチャード・シブヤ
歌謡ショー 美空ひばりの世界を歌う 久間 勝代
クラウンレコード専属歌手 林 健二

いきいき
講座

総支部だより

前々回支部協会報までは、「大阪支部便り」として掲載していましたが、N T T 労組との折衝が大阪総支部となつたことから、略称「総支部だより」としてN T T 労組の動きを寄稿してもらいますので、ご愛読下さい。

N T T 労組大阪総支部が結成されて二ヶ月が経過しました。大阪総支部は大阪・和歌山エリアを抱える組合員一万二〇〇〇人、二二分会からなる西日本本部傘下の最大の総支部です。執行体制は、一八人(内六人が分会長との兼務であり、新たな体制の中で、赤木委員長以下、役員一人ひとりが緊張感と任務の重要性和責任を感じ、執行業務に取り組んでいます。今年度の課題は

一つとしては、五月一日のO S 会社の発足を中心とした構造改革の着実な実践であり、固定電話体制からI P 市場へ打って出る体制の構築と事業運営の確立であり

ます。このことは、もはや現行の固定電話をベースとした体制では、生き残ることは不可能であることを鮮明にしています。業容拡大・新規事業も含めた市場に対応した事業運営を確立することが真の構造改革であり、それを通じ雇用の安定確保を求めて行かなければなりません。しかし、取り巻く環境は、電力系を中心とした市場への参入など、N T T グループの強力な対抗勢力の動きは、決して予断

今年度の三つの課題

を許せない状況であり、私たちは、今崖っぷちに立たされています。労働条件の低下も含む構造改革を私たちとして受け止めてきた決断と方針や、これらの提案を行ってきた会社側の責任も重要であり、私たちとしても強く会社側に求めていきたいと考えます。

二つは、N T T 労組の組織改革の定着であり、総支部体制を中心に、総支部役員と分会長の兼務体

制の充実、コミュニケーション活動の充実、交渉課題におけるプロセスも含めた分会・職場との認識の共有化などであり、ポイントは、「職場と組織の距離を縮める」ことであり、「職場の組合員さんと何でも話し合える関係」を充実させ、諸課題の解決に誠実に取り組むことでもあります。

三つは、統一自治体選挙における組織内候補を中心とした推薦候補の必勝であり、私たちの政策を反映させる政治基盤の確立、民主リベラル勢力の拡大と腐敗した政治構造を地方から変革していくことでもあります。

これらの課題は、退職者のみなさんのご協力をお願いすることも多い課題です。今後、いろんな場面を通じ、意見交換などもぜひ行いたいと思います。

最後に、今、雇用確保という労働組合としては、当たり前の最大の課題が、揺るぎかねない状況であり、時間がありません。「今、労働組合の真価が問われています。」

ご冥福をお祈りします

船本 佐喜雄	14. 6. 4	奥野 記美子	14. 7. 21
森本 幸夫	14. 7. 26	谷田 力	14. 7. 28
森口 昌和	14. 7. 29	近藤 良雄	14. 8. 4
岡 厚夫	14. 8. 11	園田 幸子	14. 9. 1
水谷 輝夫	14. 9. 8		

栄冠は

A クラス優勝 谷口 実 B クラス優勝 小嶋義雄
第8回囲碁大会を開催

退職者の会囲碁サークルの第8回大会は9月13日コンボ大阪の退職者サロンの開催、参加者20名が、2クラスに分かれて日頃の腕を競いました。栄冠は上記の2名、2位・3位は以下の通りです。

A クラス	2 位	仁賀 清蔵	3 位	佛原 良澄
B クラス	2 位	永田 正明	3 位	太田 義人

NTT 労組・退職者様へ
大阪支部の会へ

気になるときが好機です。
あなたの家のリフォームドクター
始めました!!



◇お問合せ・ご相談は

～一歩先行く エキスパートナー～

日本メックス株式会社 関西支店

(旧社名 日本総合メンテナンス株式会社)

<http://www.meccs.co.jp/>

住宅リフォームセンタまで

フリーダイヤル 0120-713-740

【編集後記】

▼総会議案の特集です。今回は新しい地域ブロックに移行を確認します。さらに一つの区切りになる記念総会です。在阪の職域で組織された五支部協が大阪支部協で一つにまとまり活動を始めたのが、九八年十一月一四日の結成でした。幹事会も燃えて張り切っていました。この総会で、ブロック主体の支部協がスタートします。

▼会報を「支部協だより」として創刊が翌年の二月二三日でした。三ヶ月一回でスタートし、通算5号から二ヶ月一回の定期発行になって今日を迎えました。毎回反省があり、少しでも充実をと心がけました。通算二三号が、今年度の最終号になりました。今年は、紙面の構成も大きく変えました。内容も常に向上へと努力をした編集委員を紹介して、次年度の新しい担当に引き継ぎます。松山(関中)、古布(南部)、大橋、森川(北部)の皆さんと小林(N E T)でした。長いお付き合い有り難うございました。

▼季節は秋。夏の疲れも癒して、秋風の爽やかさを満喫する頃ですが、多くのニュースが厳しい世相を伝えています。トップ企業の経営者が低頭の不祥事が続きました。原発の安全性を強調してきた電力会社の隠蔽工作は許しがたいことです。率直に事実を示してほしいものです。

▼鮮やかな秋の到来を期待しながら、来年度も「摂河泉O B」に変わらぬお力添えと交流をお願いします。